

PARA Community

in TATEYAMA

1995. Vol. 2

・特集 ヨーロッパツアー

／面白ツアー日記

／ツアーレポート

・ツリーラン講習会開催報告

・95 パラグライダー日本選手権 会員選手インタビュー

扇澤 郁・斉藤 直行・藤野 光一

・お知らせ

／CLUB Information / SCHOOL Information



ツリーラン講習風景 8月27日(日)

発行者 : ハミングバードPGC

編集者 : ハミングバードPGC広報委員会・会報編集部

投稿受付 : JMB立山パラグライダースクール内

ハミングバードPGC事務局まで・・・

ツリーラン講習会開催報告

Report:K.Fujino

トミーズカップ開催予定日の8月27日(日)、朝からの南強風と午後から前線が通過するとのことで大会開催を延期した。それでも40数名ものクラブ員・スクール生が集まってくれたことから、急遽ツリーラン講習会を開催することになった。

当日は、第1ゲレンデ左側の杉林で杉の木2本を使用し、実際に木に登って下降する手順を体験してもらった。体験したのはスクール生が中心だったが、熱心に説明を受け、初めて使用するエイト環での下降技術の修得に真剣に取り組んでいた。勿論、パイロットもツリーラン時の手順を再確認し、ツリーランセットを点検、不足装備を買い足す者もいたようだ。

ツリーラン時は、まず何よりも先に安全確保を行い、自らの置かれた状況を冷静に判断し、それらを正確に無線連絡することが大切だ。そして、自分で対処可能なのか救助要請が必要なのかを伝えることだ。勿論、そのための十分な装備と知識・技術も必要だ。もし、自分で判断が出来ないのであれば、然るべき人に判断を仰ぐのも大切。決して無理はしないこと。

誰も好んでツリーランする訳ではないと思うが、どんなアクシデントが待ち受けているかはわからない。

(ツリーランすることが安全である場合もあるが。)

そうなった時、少なくとも自分の安全確保は自分で出来るようにならなければ、パイロットとは言えないだろう。

今後もこのような企画を立て、あらゆる場面を想定した安全対策を行って行く必要性を強く感じた。役員の方々にはその事を理解していただきたい。そして、事故の無いエリアを目指していかなければならないだろう。皆さんの協力をお願いしたい。



<安全確保に真剣な面もちで取り組む長崎さん>



<エイト環・ザイルによる下降訓練を受ける高林さん>

それから、ツリーランも含めた事故や安全対策上必要と考えられる情報に関しては、我々クラブ員全員がその情報を共有する必要があるだろう。そういった皆さんの体験についてもレポート等の提出をお願いしなければならないかもしれない。

いろいろ意見ばかり述べたが、もう一度、我々の気持ちと装備・知識・技術を見直すための良い機会であった。

特集・ヨーロッパツアー！！

8月3日～8月12日までのAEROTACTヨーロッパツアーに、クラブから8名のパイロットが参加ヨーロッパの空を満喫した(らしい?)。その模様を参加した皆さんに報告してもらったよ！！

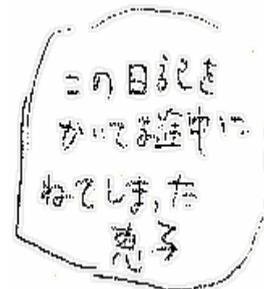
面白ツアー日記

Report : K.Wakabayashi,etc

8月3日(木)

富山発13:20 かがやき7号にて出発。関沢・横山さん見送りにきてくれる。本日の宿泊はHOTEL日航成田。(食事高～い! スチュワーデスいっぱい～い!!)

HOTEL日航成田は、成田ベースの日航クルーの指定宿泊施設なのです。



8月4日(金)

成田発11:30 JAL405便にて出国。12時間飛行機の中。

19:00(現地時刻)～ レンタカーにて移動。HOTEL一泊。

8月5日(土)



朝っぱらから(AM5:00頃)中谷さんが腹痛。胆石か? 鎌仲さんのツアー?! の薬を飲んで事なきを得る。

HOTELでエリアの事前チェックの後シャレーに移動。

・ゴンドラでTOへ、とりあえずLD1へ降りるぶっ飛びの予定。みんなそこそこ遊んで無事LD。

12:00～13:00はゴンドラoffのため、炎天下の中車を待つ。

・食事をとってから再びTOへ。16:30頃2本目TO。鎌仲さんの素敵なお泊。(立ち上げの後こけてスタ沈と思いきや、頭を打ちつつTOして行った!!)

松田さんのLD不明パニック!!(松田、井上、若林の順でTO。全員TOした後雲行き怪しくLD命令。

みんなが宿泊したシャレー

3人はセンターパラパントのLDへ。LD付近で「LDわ

かりましえ～ん!!」と松田さん。さっきまで人にLDの説明をしていたのに・・・。美由喜さんに誘導され、無事LD。よかったネ!!)

夜・・・中華料理店へ

(鎌仲夫妻、中谷さんは、日本食自炊。メニュー 白米・味噌汁・たまご焼き・のり、この時、みしまん・なかたにん・かまなかん・いのうえん・まつだん等の愛称つける!!)

8月6日(日)

おじさんたちは早起き!!(HなTVを見ていた!!その後毎日早起きしてTVを期待するも、日曜の番組らしくお目にかかれなかったらしい!?) 鎌仲母は6時前に掃除を終わっていた。

・朝食は、パン・スクランブルエッグ・いんげんソテー・コーヒー。

・9:00～ センターパラパントへ状況を聞きに行く。(ガスっている)午後から晴れるとの事。買い物

- ・ する人有り！！13：00まで自由行動。みんなで買い物ツアー。昼食も各自勝手なものを食す。
- ・ 13：00～ 出発。各自TO。約1：30程フライト。三島さんは期待に応えて最後まで飛ぶ。16：00にLD。
- ・ 19：30 モーマットヘチーズフォンデュ+トマトフォンデュを食べに行く。雨が降ってきた。トマトフォンデュについてくるゆでじゃがいもを中谷・鎌仲ががめてきた。はずかし～！！



楽しいな！おいしいな！の図

- ・ 22：30 帰宅。また飲み会！！
- 中谷のカメラ×××事件？！
- みしまんおこった事件・しゃべったぞ事件！！



みしまん
K子画

鎌仲母沈
ホモ？ペア発見

チーズ、ミート、トマトフォンデュうまい！

- ・ 鎌仲母（節子）、本当は相当の酒飲みだった！！ビール2本、ワイン2杯でテーブルにつつぶして寝ていた！
- ・ 節子タンDEMしたぞ！！
- ・ マドモアゼル恭子（あの和泉恭子さん！！）
- ・ 松田は若林がいじくらしー状態！！（松田さんは相当いじめられたらしい？）
- ・ 恵子は、Tシャツ20枚買ったぞ！！～ノルマ、絵はがきもいっぱい買ったよ！！
- ・ 言葉を語らないみしまん、青スジたてて笑っている。

8月7日（月）観光旅行編

6：30 朝食 ごはん・目玉焼き・おつゆ。

7：15 出発 シェルマットヘレンタカーで出かける。若林、花粉症に苦しむ！！

10：00 テッシュからシェルマットへ電車 シェルマットでスウォッチマートへ行く。オリンピックモデル買い漁り！シェルマットから登山列車の終点（ゴルナーグラート）までマッターホルンがスッキリ見えなくて残念！みんなで昼食食べて下山。トレッキングしたかったよー！！途中で雨が降ってきた。



14：20発 下山 15：00～16：10 自由時間

ツアーメンバーそろい踏み！？

松田さんがシェルマットの薬局で、若林の花粉症の薬を買うために説明してくれた。

「Treepowder She's nose Kusyu Kusyu!!」とジェスチャー入り！！何となく通じたみたい？！こわいもの

知らずの松田。

16:10 ~ テッシュまでレンタカー移動！マルティニーニで買い物。みんなでラーメンタ食。

8月8日(火)

7:30 朝食、ごはん・ゆで卵・トマト・サラダ・チーズ

8:30 ~ 天気が今いちなのでスキーをやろうと言う事になったけど、レンタルスキーをやっているショップの人に聞いたら日曜日でゲレンデはクローズになったとのこと、みんながっかりする。

9:30 ~ それではアストラからトレッキングをしようとゴンドラでアストラへ。周辺散策の後ガスってきたので再びゴンドラでルイネットまで戻り、とりあえず昼食。ウェーターのお兄ちゃんにホットミルクを注文するのに苦労する。中谷さんがジェスチャー入りのかた言英語でわかってもらった。

12:30 ~ 鎌仲、中谷トーチャンは、ちょっと疲れたので別行動。井上・鎌仲カーチャン・三島・松田・田中カズ・恵子はクワットカを目指す。美由喜・恭子・中村組は優雅にテニス。6人グループは1Hちょっとトレッキングして結局モーマットへ。直後土砂降りとなるが、一昨日のフォンデュレストラン軒下で難を逃れる。トーチャン2人組は林で山菜を採取しつつ雨に打たれて下山する。それぞれこの日の天気でもベターと言える野外活動となったと思う。



扇澤氏と久々の対面、談笑にふける

18:00 ~ 扇澤カオル氏、フランスアヌシーより4時間かけて登場！！

恭子ちゃんと恵子で変なカレー&スープ作成。シーフードとミートカレー完成。辛い！扇澤氏を囲んで談話。

23:00ごろ お開き

But・・・扇澤は飲み足りず・・・

田中カズ・松田・若林・扇澤でバーに飲みに行く。扇澤の結婚論力説！（恵子に「結婚してくれ」と言う）

1:30 帰宅。若林、沈。（松田・田中・扇澤はシャレーで3次会。3:00まで飲み続ける。扇澤記憶喪失）

8月9日(水)

6:30 朝食、おにぎり・つけもの・じゃがいものおつゆ・ゆで卵・他

7:00すぎ シャモニーへ出発！！

10:45 シャモニー着、Pに止めて町へ繰り出す。

11:40 集合。ゴンドラに乗ってモンブラン見学。（各自ショッピング・食事とってから・・・、中華料理おにぎり）

ゴンドラの傾斜すごーい！すごーい！すごーい！三島状態。氷河上のゴンドラに乗ってイタリアへ。

こわーいこわーいゴンドラ。（恵子は「キャー！」と女らしく叫ぶ）



恵子が女らしく叫んだと言うゴンドラ

あー絶景かな絶景かな。ガスが切れてすごく美しい景色。各自感動する。みんなテンションHi！！（特に、松田・三島）酸欠でみんなフラフラ。（外人がチュッチュしてるのを見て中谷トーチャンよろこぶ！）

18：00ごろ アヌシーでフライトしようと思ったが時間的に無理。結局ベルビエに戻り食事に出かける。

19：30～ 食事。ステーキ食べてみんなありがたーい状態！！今日の感動を肴にシャンペンで乾杯！

恭子ちゃんがダンディーな井上さんの事を“究極のハエ男”呼ばわりしてしまった。（“究極の晴れ男”と間違えた）

夜、さんざん飲みちぎった扇澤氏が、お風呂に入ってなかなか出てこない。中谷さんが見に行ったら寝ていた。

中村さんが叩き起こす！（扇澤ヨーロッパで溺死寸前！！やばいっ！！風呂場前の廊下には、パンツ・Tシャツが脱ぎ捨ててある）

節子ちゃんは究極の方向オンチ。

8月10日（木）

9：00まで 各自朝食をとる。鎌仲夫妻、中谷さん、井上さんは和食。その他はパン。各自後かたづけ。

三島さんは自分の分しか洗わない！

三島さんは、テイクオフのルイネットに着いてもまだ「アイガー、アイガー行かんがけ？」と言っていた。

恵子ちゃんは、フライトで酔ってしまって、少し白くなり“美人”でした。その後、風呂場で転び、柱で頭を打ちぶっ倒れました。

鎌仲母、帽子紛失事件！！



最終日、各自フライトを楽しむ！！

スイスのオープンカップが今日から始まる。（3日間）はじめ高層雲があったため、サーマルなし。結局選手TO。14：30～15：00。それまでポーッと待つor写真撮る。みんなも続いてTO。サーマルヒットして尾根上まで行った人、ベルビエのサーマル山に張り付く人、選手を追いかける人、様々。

19：00 全員帰宅。

恵子、具合悪くて夕食食べれず。夕食は、ごはん（氷見から持ってきた）・魚ムニエル&塩焼き・味噌汁・他みたい・・・。

ベルビエでのフライト！！

24：00 恭子ちゃんが迎えに行った加藤ごうくとたっくんが来たが、すぐ寝る。

8月11日（金）

8：30 各自起き、出発準備。

恭子ちゃん達はここでお別れ。ありがとう！！キョーコ。（三島さんが密かに恭子ちゃんに饞別をあげていた）ジュネーブへむけて出発。（扇澤氏も同行）途中、朝食をドライブインで食べる。

11：30ごろ ジュネーブ着。レンタカーを止めて町へ繰り出す。扇澤氏とはここでお別れ。

「社長！がんばれ！！」

13:00 昼食まで自由行動。高級ブティックでウィンドーショッピング。

レマン湖上の船上レストランで魚料理を食べる。

14:30 ジュネーブ発。

15:30すぎ ジュネーブ空港着。

美由喜さんが出発時刻PM6:00をPM4:00と間違えて早く着きすぎたが、そのままチェックイン。

ひまーっ！！

あまりに暇で、鎌仲節子ちゃんと松田くんが、空港内をうろうろとまわっていた。

- C A S T -

若林(恵子or K子)、松田(まつだん)、井上(いのうえん)、田中カズ、三島(みしまん)、中谷(な
かた

にん)、鎌仲トーちゃん(かまなかん)、鎌仲母(節子ちゃん)、美由喜(田中美由喜)、恭子(和泉恭子)
扇澤カオル(社長)、中村さん、加藤ごうくん、たっくくん

The END

(注)この日記の内容に関するクレーム等は、一切受け付けておりません。また、内容に関するお問い合わせは、直接ツアー参加者にお訪ね下さい。(編)

ヨーロッパツアー Report

ヨーロッパフライト観光ツアー日誌より

Report:H.Kamanaka & S.kamanaka

自分たち4人は、8月3日22時30分発の高速バスで成田まで行く事にして、先頭ぐるうぶと成田で会う。機中の人となる。パリで乗りかえ、ジュネーブに着いたのが19:30分ごろとなる。和泉恭子さんが迎えに来てくれていた。ホットする。空港からは、田中美由喜さんと恭子さん運転のレンタカーに乗りベルピエへ行く事になる。ベルピエに着いたのが23時ごろ、ホテル前ではデスク大会が行われていた。皆さん疲れていたのですぐ寝る事にした。

2日目。朝、目がさめると良い天気ではないか。まず散歩でもしようかと部屋を出た所で井上さんにあう。所が中谷さんが急性の腹痛で朝から大騒となる。約10分後にはケロリと直る。たのしい思いでとなる。

朝食を食べ、まずは皆さんでゴンドラに乗りテイクオフへ行く。美由喜さんの指導で1本目はブットピと決まり、皆さんなんとなくテイクオフと思っていたが、最後の1人何回も？お陰でランディングで熱い中辛い思いをする。テイクオフからランディングの高度差は、自分のパリオ計で1160mであった。1本目は皆さん無事ランディングするが、2本目はリフトの昼休で炎天日の中でまたされる事2時間、2本目テイクオフへ。強



い風の中いざテイクオフする。すこし問題ありのテイクオフであったがでて見るとこれからが大変であった。強い風とブローにより、4~5回もつぶされる事になる。

しかし、エナジーの安全性に助けられる。その後、強いサーマルに乗り一気に3120まで上昇する楽しいフライトであった。

3日目。皆さんでマッタホルン観光としゃれこむ。

山はすごかったの一言につきる。チェルマットでは皆さん

暑い中、昼食待ち！！

買物、日本人なりやこそその光景である。夜はオイルホンリュを食べに行く。

4日目は、皆さんでスキーをしようとレンタルスキー屋さんに行くが、スキー場は前日で終りとの事。残念であった。それでは、と、皆さんでトレッキングとしゃれこむが・・・とちうで雨に降られる。夜に扇澤氏が来るとの事で、女性群、カレーライス造りに腕を振るう事になる。大変オイシイかった！！

5日目。シャモニ、モンブラン観光で、これがすごい所である。ハミングバードの皆さんも是非一度行って見て下さい。ゴンドラを降りると氷河の中であった。高度は3840mの所である。これからまた小型4人乗りのゴンドラに乗りイタリヤまで行く。そのゴンドラがすごい！氷河の上空を約5K、左にはグランドジョラス、右にはモンブランの山なみ。そこで松田君、感動と感激の涙であろうか、思いきり彼女の名前も叫んでいた・・・。

6日目。自分としてはアイガ観光に行きたかったが、皆さんの顔を見ていると飛びたそうな雰囲気であったのでフライトする事に同調する。しかし、テイクオフに行くがあまり風雲ともによくない。約3時間のウエテング中の事、三島さんいわく「やっぱりアイガに行けば良かったな」との事。一番とびたそうな顔していたのに？！

その後、皆さんテイクオフする。今日、安定したフライトであったがケイ子、センタリング酔い・・・。

7日目。朝9：00時ころ、たのしかったベルビエを出発する。恭子さんとここで別れる。松田君の好きなレマン湖の観光に行く。舟上レストランで食じをする。その後一路空港へ。ヒコーキでは、ビジネスクラスに乗っていただきありがとうございました。このツアー中、田中美由喜さん、和泉恭子さん、ツアーの皆さんに大変お世話になり本当にありがとうございました。

タンデムフライトの時皆さんにお世話になり、ありがとうございました。（節子）

（注）美由喜さんの指示により、原文をそのまま掲載いたしました。（編）

あこがれのヨーロッパ

Report:井上文一

私は、パラを始めて4年半程になりますが、始めた頃3つのステップを考えていた。それは、第一にP証を取る事、第二に県外エリアへ遠征すること、そしていつかはヨーロッパアルプスへ行くことであった。

P証は93年4月に取り、県外エリアへは今まで24回出かけていますがヨーロッパへは、まだまだ無理だろうと思っていた。

ところが、今回すべてがうまく回り、あこがれのヨーロッパへ行くことが出来た。毎日が驚きの連続でベルビエエリアのスケールの大きさ、楽しかった貸別荘での生活、トレッキング、マッターホルン観光、極付けはモンブラン観光、どれをとっても素晴らしかった。

また、扇澤さんとの再会。扇澤さんは、私に会うなり「井上さん、あこがれのヨーロッパですね」と、前に話していたことをよく覚えておられ、本当にびっくりした。

その中でもやはりフライトについて紹介しましょう。まず、エリアを紹介しますと、ベルビエの町は標高1500m、ルイネットTOは2200m（ゴンドラで行ける）、その上アトラスTO2700m、（ロープウェイで行ける）、その上には3000m～3300mの山々が連なっている。また、一番下のシャンペックLDは1000mで、ルイネットTOから標高差1200mである。エリア全体が掘り鉢状のスキー場で、どこからでもテイクオフ可能で、本当にスケールの大きいエリアである。

2日目、天気は晴れのちくもり

サーマルタイムに合わせお昼にルイネットTOへ。TOはスキー場のゲレンデでプレッシャーはない。TOに

立つと下にベルピエの町が見え、目の前にも雪を頂いた3000~4000mの山々が連なり、日本では体験出来ないエリアである。

準備出来たものから順次テイクオフ、前の人の上げ具合を見ながら、私も4~5番目にテイクオフ、左へ旋回しリフトを越えサーマルに入る。ゆっくり回して300m程上昇、段々景色が変わって、樹林帯から岩場へ。さらに300m程上昇し、アトラスT0の上まで行くと、池が見え(みくりが池?)雪渓が見えたり(室堂?)して、立山の上を飛んでいるような錯覚になった。また、目の前にはマウントゲール(3023m)の荒々しい岩山が迫り、下を見るとゾッとするようなガラ場で、私は無理をせずサーマルをはずし、ゆったりスイスの空を満喫していた。



LDへは2000m近い降下である。途中、針葉樹が焼き鳥の串のように尖っていた。サーマルに入ったり出たりしながら、シャンベックLDのある谷へ入っていった。スイスの谷はバレーウインドーが強いと聞いていたが、ほとんど風を感じず、空中に止まっているような気さえた。ゆっくりと谷の向こうの山に付け高度処理をしながら降下、LDは広々とした牧草地であり、なんなくランディング。1時間20分のフライトであった。

あこがれのヨーロッパ!テイクオフにて
すぐそこに3000mの山々があるという感じであった。

牧草地に座っていると、テレビ漫画のハイジが出て来るような眺めで、また、目の前を見上げると、

写真もたくさん撮ったがそんなスイスの眺めをしっかりと自分の目に焼き付けてきた。機会があったらまた来ようと思っただけでスイスを後にした。

扇澤郁師匠と夢のベルピエ・ランデブーフライト

Report:K.Tanaka

[1995年8月10日(木)14:30~ベルピエ]

午前11時30分に、テイクオフポイントであるルイネットに来てから、3時間ウエイティングの甲斐あってようやくコンディションが良くなりました。今日からは地元の大会も開催されており、先程から外国人選手達(当たり前!)も、次々とスタートを始めました。その中を、我が扇澤郁師匠もテイクオフしていくではありませんか。そうなんです!今日は立山のホームエリアではなかなかお目に掛かれない郁師匠が居るのです。

現在尊師は、最愛の妻子を日本に置き去りにしたまま(最近、電話連絡はよくするようになったらしい)、フランスのアヌシー(ベルピエから4時間位離れた所)という所を拠点にして、機体のテストフライトと、PWCに参戦しているとのこと。そんな単身赴任の寂しい日々の中、我々ハミングバードの人間が、大挙してベルピエに来たもんでから、なつかしい郷里の匂いを嗅ぎに(どんな匂いじゃ!)わざわざ仕事をさぼって駆けつけてくれたわけ。

そうこうしているうちに、テイクオフ左手で大会選手達が少しずつサーマルの蚊柱を作り始めました。おーっと、こりゃーおいしいぜ。今を逃す手はないってかーということで、自分もテイクオフします。さっそく蚊柱の下にもぐり込んでグリグリと回します。まだ、条件はベストとは言いがたいですが、徐々に上がり始めます。今日のフライトでは、せっかく扇澤師匠と飛ぶ機会に恵まれたのだから、できれば師匠の後にくっついて

飛んで、トップフライヤーの技を拝見できればいいなあと思っています。しかしながら、同じエリアを飛んでいるとはいえ、相手の位置を常にマークしていない事には一緒に飛ぼうにも飛べません。そこで、郁さんの位置を確認しつつ、センタリングを続けます。高度を上げると共に大会選手の中に突入し始めます。当然ですがどいつを見ても外国人ばかりです。「俺、フランス語喋れんけど、ちゃんと一緒にセンタリングできっかなあ」と一抹の不安。

見ると、相手の外国人も「んー、この東洋人はちゃんと飛んでくれっかなあ」と言うような不安な顔をしてこっちをみえています。なにせこっちは大会には無関係の“お気軽フリーフライヤー”です。ですから、極力相手の回転半径とスピードに合わせて、邪魔にならない様心掛けました。でも、心配御無用。言葉は通じなくても、空の上での意志の疎通はばっちりできました。～目と目で通じ合う～(工藤静香歌)と言うやつですねー。私、感激しました。外国人選手と目と目で通じ合っている間に、どうやらこのサーマルをトップアウトしたようです。少しづつ後ろの高い山(アトラス)に近づきながらセンタリングしますが、テイクオフ地点から500m~600mゲインというところで行ったり来たりです。「さーて、これからどうしようかなあ、郁師匠はどこかなあ」と捜しましたら、いました、いました、自分の足の下。これならどこへ走ってくれても、あなたについていままっせー状態です。そのうちに郁さんもこちらに気づいてくれました。よしよし、ごほうびに写真でも撮ってあげよう。パシパシ。しばらくは一緒にセンタリングするも、やはりトップアウトと判断したのか無線連絡あり。「田中さん走るからついてきて」の声。待ってました、お声掛けありがとうございますの犬がきゃんきゃん状態、乾いた喉で「了解」と返事。うれしい遠足の始まりです。

テイクオフ左手後方に広がる大きい谷を、フォローの風を背負って一気に飛び越えて行きます。行く手には見事な崖っぷちの群と、どっしりした山が待ち構えていました。センタリングポイントと思われる崖っぷちに、一足先に郁さんが取りつきました。うーこんな崖でセンタリングするのは初体験です。ここも条件はいまいち渋々です。そんな中をさすがトップパイロット扇澤郁は、じわじわと上げ返していきます。「うー、俺はまだ上げ返せんぞー、弱った弱った」と思いつつ崖っぷちを8の字旋回し続けていると、「もっとへばりついて舐めるようにセンタリングすればいいよ」とアドバイスの無線あり。言われた通りにもっとシビアに攻めると、おー、少しづつ上がってきました。やはり、崖っぷちにびびっていたことを認識。しかしながら、ここで吊ったらヘリ出動は間違いないなあ、さすがに本場は一味違うのー、と関心する、(関心してどうする!)郁師匠は、この不出来な弟子が上げ返すまで、余裕で待っていてくれました。おー、おー。一定のレベルまで上げ返した事を確認してか、帰るコールの無線あり。また大きい谷を渡ります。“ブー、ブー”と今度は向かい風のため、高度がどんどん下がっていきます。間近には民家や木々も見えてきました。このままずぶってしまうのかと考え始めたところ、先行する郁さんがサーマルをヒット。程なく自分も林の上でヒットして安堵です。今回は自分の方がサーマルの上昇率がいいらしく、郁さんよりも先にすいすいと上がってしまいました。しかし、めざといぜトップフライヤー扇澤郁は、すばやく下にもぐり込んで来たかと思うと、あっという間に追いついて来るではありませんか。

さっきの崖の上げ返しといい、今の状況判断といい、さすがです。そんなこんなで後は余裕でテイクオフポイントまで帰ってきました。その後の郁さんの予定では、もう一度トップアウトをやり直した後で、今度はテイクオフ真向かいにある谷を挟んだ山(立山エリアで言うなら大辻山のような場所)へ走る予定にしていたのですが(ランディングの後聞いた)郁師匠が850m位ゲインしているところを、自分は650mしか上げられなかったため、これ以上いけませんでした。シクシク。

しかし、当初フライトの目標としていた郁師匠とのランデブーフライトは達成され、このスイスの地で実力の差を見せつけてもらったことは、大変有意義でありラッキーでした。きっと、これからの自分の“飛び”の

参考になると思います。郁師匠、今日は面白い崖までお手手引いて遠足に連れていってくれて本当にありがとう！！

ツアーレポート

Report:I.Matsuda

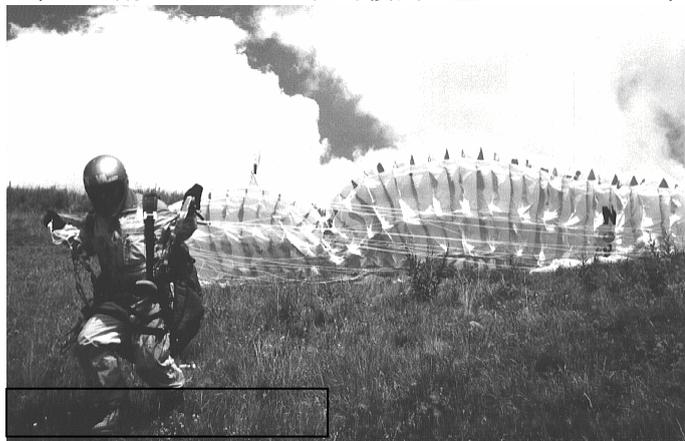
ベルビエは良い所です。ここを取り囲む様にした山の稜線が美しい。自然にとけ込んだ木造の家々がいい。ベランダの赤い小さい花々、肌に心地よい乾いた風、そして、日本人がまったくいないのがいい。でも私が最も気に入ったのは、ここがヨーロッパアルプスだと言う事でした。

20歳の頃からずっと夢を見ていた。「死ぬまでに一度でいいからヨーロッパアルプスに行って、4000mの山々を見てみたい」。山溪を見ながら友と夜遅くまで語り合っていました。それが実現したのです！！

シャモニーから一気にロープウェイで4000mの世界へ・・・。「おいらが世界で一番カッコ良いのさ！」と、さも競っているかの如く優美で堂々としている山々、そして裾野には大氷河。この世のものとは思えない景色に私は、山に向かって叫んでいました。

「すげえ～」、「すげえやー」と。

山を降り、日本に帰ってからもしばらくぼーっとした状態が続き、「今言った事、もう忘れちゃったの？」と恵子ちゃんにはバカにされるし、仕事するのが嫌になっちゃうし、早くスイス人から日本人に戻らなければ・・・、と思っている今日この頃です。



世界で一番カッコ良い松ちゃんのテイクオフ！！

ヨーロッパツアー

K.Wakabayashi

今回のヨーロッパツアーは、立山のメンバーが中心だったので、いつものクラブツアーと同じ感覚で参加出来た。何と言ってもメンバーが最高で、一応インストラクターと呼ばれている私なんかより、ずっと経験年数の多いベテランパイロットばかりなので、安心してついて行くという感じだった。

ベルビエの町について



スイスのレマン湖近くのベルビエという町は、主にヨーロッパの長期滞在型リゾート地として利用されているため、日本人は私達しかいないのが、まずうれし。(でも、日本車がいっぱい走っていた)町は綺麗、時間は長い(夜9時まで明るい)、爽やかな気候、ベルビエ中パラ、ハングが飛んでいる。外人のねーちゃん・にーちゃん・おじさまは格好良いし、着いた早々『帰りたくない病』に陥ってしまった。

カッコ良いおじさまはみつかったかな？

宿について

1日目はホテルだった。2日目からシャレーと呼ばれるマンションに滞在。生活用品は全て揃っていて、すぐ生活出来るようになっている。まるでモデルハウスのように。うーん、こんなところなら一生住んでいたい、と言う感じ。鎌仲節子夫人は、毎日綺麗に掃除をして下さった。(私は一度もせず。私みたいのが嫁でなくてよかったっす)

買い物・食事について

基本的に物価は高い。ベルビエには、おしゃれなアウトドアショップがたくさんあったけど、服の値段は日本とあまり変わらず、バーゲン品しか買う気にならなかった。

基本的にあまり外食はしなかった。スーパーで食品を買ってきて自炊(鎌仲妻製作?)したり、パンを食べたり。スイスと言えばチーズということで、チーズフォンデュを食べに行っただけどミートフォンデュのほうがおいしかった。メンバーの平均年齢を考えて頂ければわかると思うけど、『米を食べないとご飯食べた気がせん』というわけで、いつもご飯を炊いて、みそ汁飲んでた。私なんか日本に居る時より日本食を食べた気がする。そういえばビールはコーラよりも安くて、みんな水がわりにビール飲んでたっけ。

フライトについて

6日間滞在中、3日間フライト、3日間観光と、あまりガツガツ飛ばずのんびりとした日程だった。

私は普段サンデーフライヤー気分には絶対なれないので、このツアーでは一般フライヤー状態で飛べたことが何よりも楽しかった。(若林が飛んでいる所を見たことがある人は少なからう)3日目のフライトで酔ってしまい最悪の体調になってしまったけど……。フライトについては三島さんにでも語って頂くでしょう。

全体の感想



とにかく、時間とお金がなくても行く気があれば何とでも今回のような企画(ツアー)に参加すべきだと思う。実際、私の場合スクールを休講しての参加で心苦しい事もあるが、本当に良い経験が出来たと思っている。

それと、今回通訳はみゆきちゃんしてくれた。私の話す言葉が通じなくて苦労したこともあった。もっとちゃんと話ができるようになりたい。(一体日本の英語教育はどうなってるんだ!)

また、富山のメンバーばかりで、「富山弁」を喋りまくっていた。(田中美由喜さんや、中村さいぜー恵子ちゃんよ!(でもゴンドラ傾いとるよ!) ンまで巻きぞいにした)

今回は、『ヨーロッパツアー3大北壁ぶっとびツアー』と銘打って、3000m級の山をぶっとんでこようツアーがいいと考えている。本企画になったら皆さん参加してね。(おそらく実現は無理であろう)

余談

中谷さんは、ツアー中ヒゲを伸ばして、黙っていたらダンディだった。

鎌仲夫妻は、ただの観光客状態だった。

井上さんは、ダンディだが、たまに変なギャグを言わはる。

三島さんは、いつも黙っているが存在がおもしろい。

松田さんは、人の話を聞いていないが、若林のいじくらしい発言は聞こえたようだ。

田中さんは、田中美由喜の弟だと言っていた。

* みんなそれぞれの個性があって楽しいツアーとなりました。

‘ 9 5 パラグライダー日本選手権 ハミングバード P G C 会員選手 大会直前インタビュー！！

- ・ 1995年パラグライダー日本選手権は、ここ立山パラグライダーエリアにおいて10月7日～15日に渡る9日間の日程で開催される。立山での開催は今回が2回目で、前は‘91年に開催されている。しかし、天候不良により不成立であった。今回は是非とも成立して欲しいと願うのは我々だけではないだろう。今回の日本選手権は、我がクラブからも昨年の覇者、扇澤郁選手（JMB立山スクール校長）を筆頭に、斉藤直行選手、藤野光一選手の3名が出場する。また、多くのクラブ員・スクール生の方々もサポートスタッフとして参加する予定だ。

今回は3名の選手に、大会直前の心境と目標を聞いてみた！！

扇澤 郁（おうぎさわ かおる）

生年月日：1959年12月27日 出身地：富山県高岡市

職業：EDEL契約パイロット、JMB立山PGスクール校長

パラ歴：1987年～ コンペ歴：1990年～

所属チーム：チームアエロタクト 使用機体：EDEL-ENERGY

目標順位：2位でいい（と云いつつ優勝を狙っていると思う！）

心がける事：（聞くのを忘れた！！）

マークする選手：（聞くのは失礼と思って聞けなかった！！）

一言：らいちょうバレーカップ第2戦（9月22日～24日）では藤野に負けたので、藤野の次を狙います。（と云いつつ特有の笑顔で笑う！！）

斉藤 直行（さいとう なおゆき）

生年月日：1971年3月9日 出身地：富山県氷見市

職業：会社員 パラ歴：1990年～、飛行時間300時間 コンペ歴：1992年～

所属チーム：チームアエロタクト 使用機体：EDEL-ENERGY

目標順位：3位以内

心がける事：確実に！速く！

一言：いつもと違った飛びを見せますので、ご声援の程よろしく申し上げます。選手宣誓をする予定ですので、乞うご期待！！

藤野 光一（ふじの こういち）

生年月日：1965年7月16日 出身地：富山県富山市

職業：会社員 パラ歴：1992年～、飛行時間110時間 コンペ歴：1993年～

所属チーム：ハミングバードPGC-Team C 使用機体：FIREBIRD-GENESIS

目標順位：10位以内

心がける事：普段の通り飛ぶ事。マイペース。

一言：地元選手として、目に見えない有利な点を生かせるよう頑張ります。

選手の皆さんに、暖かい声援をお願いします！！

CLUB Infomation

・トミーズカップ、天候不良の為中止

8月27日(日)に予定されていたクラブ主催の第2回トミーズカップは、予備日の9月3日(日)も天候に恵まれず中止とさせていただきます。役員一同、大変残念ではありますが、今後の日程を検討したところ「中止」の決定に至りました。来年も行いますので、皆さんの参加をお願い致します。

・日本選手権開催間近！

いよいよ「'95パラグライダー日本選手権」が開催されます。皆さんにご協力を呼びかけたところ、多数の方のサポート協力をいただける事になりました。本当にありがとうございます。あとは、日選を皆さんの手で盛り上げ、成功させる事が目標です。よろしくお願い致します。

・ハミングバードPGC、コンペチーム「Team C」、緒戦検討！！

かねてより密かに？！活動をしておりました通称「コンペチーム」が、正式にクラブのコンペティションチームとして発足します。チーム名称は

「Team C」、Hummingbird PGC Competition Team

です。「Team C」の“C”には

Competition、Challenger、Champion

の意味を込めて命名しました。(決してCランクの意味ではない！！)

この「Team C」が、9月22日～24日に開催された「らいちょうバレーカップ第2戦」に参戦し、チームリーダーの藤野を筆頭に検討、緒戦を飾りました。結果は以下の通りです。

順位	選手氏名	機体名	飛行距離	得点
3	藤野光一	GENESIS	32.8Km	745
25	阪本 猛	GENESIS	13.2Km	300
41	江上祐司	GENESIS	12.3Km	280
53	本馬竜夫	MERAK	8.0Km	182

今後の活躍にご期待下さい。また、メンバーを募集しています。やる気のある方ならOK！！

お気軽に参加して下さい。詳細は、チームリーダー藤野までどうぞ・・・！



オーストラリアツアー

この夏ヨーロッパツアーがあったばかりですが、続いて冬のオフシーズンに夏のオーストラリアへフライトしに行きませんか？

日程は1月中旬頃で、メンバーが揃ったら決定します。費用は28万円程度。フライトツアーですが、飛べない時は乗馬やマリンスポーツ、観光など盛りだくさん。ちょっとした興味のある方はスクールまで・・・。

校長：扇澤 郁、ワールドカップ3位入賞

8月14日から20日まで、フランスのアボリアズで行われたワールドカップで扇澤郁が**第3位**に入賞しました。日本人初のワールドカップ3位入賞です。

今年もイーデルのテストパイロットとして世界を飛び回っている扇澤ですが、今回、日本選手権大会でも活躍を期待したいですね。大会結果は以下の通りです。

順位	選手	機体
1位	ハンス・ボーリンガー	オメガ3
2位	ウォルター・ホルツミュラー	ゼノン
3位	扇澤 郁	エナジー

クラブ保険について

前回の会報にクラブ保険の更新手続きのご案内をいたしましたが、皆さんお済みでしょうか？ツアー時のケガに対しても保険がおりますので、入っておこうと思っている方は、入っているかを確認して下さい。ケガをしなければいいんだけど・・・。

(0764)81-1256、関沢、若林

編集後記

9月26日、富川さんの事故からちょうど1年のこの日、レリーフ前にて静かに手を合わせた。この日は、スクール関係、クラブ関係の内輪のメンバーが集う中、寺内さんの読経が静かに響いていた。悲しい事故ではあったが、我々は決してこのことを忘れてはならない。我々自身のために、安全について考えることを改めて思いおこさせてくれた1日であった。日本選手権などの華やかなイベントに浮かれることなく、常に前向きな気持ちで、このテーマに取り組んで行こうと思った。

広報委員会・会報編集部